

(様式第3号)

企業・団体名(松本土建株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築している。(研修実施、相談窓口設置、情報提供)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメントを禁止する旨を規程に定めている(妊娠・出産・育児休業に関するハラスメント及びセクシャルハラスメントの防止に関する規程) ・研修の実施、相談窓口の設置、情報提供している ・全社員にハラスメント禁止の周知を行っている(安全大会)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・労働基準法を遵守した取組みをしている ・勤怠システムを導入し、適正な労働時間の管理、長時間労働の防止に取り組んでいる ・毎週1日ノー残業デーを設定している								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			人権・個性の尊重について事業部会議等により、社内浸透に取り組んでいる。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5 人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・日々の現場巡視活動、安全指導に加え、定期的な現場パトロールを行い、労働災害の防止対策を講じている ・社員・協力業者向けの労働安全管理講習会の実施 ・安全衛生委員会を設置し、内容について社内回覧等を活用して周知徹底している			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			毎年全ての社員にストレスチェックを行い、結果については、産業医の面談制度を設けている。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・女性の活躍推進に積極的に取組み、えるぼし認定を目指す。 ・シニア社員の実状に合わせた労働環境を整え、エンゲージメントの向上を図っている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・職務や役割、スキルに応じた研修体系を整備し実施している ・資格取得を奨励して、業務に必要な資格取得に対する会社補助や講習会を行っている				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			関連する法律を理解し、同一労働同一賃金の原則に沿った対応をしている					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			健康経営優良法人認定 職場いきいきアドバンスカンパニー(ワークライフバランス・ネクストジェネレーション) 認証			3					8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・社屋、現場事務所等の各事業所において廃棄物を適切に分別している。 ・コンプライアンス教育を徹底し、法律に基づく適正な運用を行っている。また電子manifestを運用し、処理状況を随時監視している											11.6	12.4		14.1			
12 環境	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			本社にてモニターを設置して、電力使用量を把握している							7.3					13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・現場にて排出ガス対策型機械の使用を原則としている。 ・社用車の約24%をエコカー(EV、プラグインハイブリット、ハイブリット、クリーンディーゼル)にしている。 ・温室効果ガス排出量算定シートにより排出量を算出して把握している。							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・法令で規制されている有害化学物質を把握し、統括安全衛生管理体制の下で安全作業を実施している			3.9			6.3					11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・工事着工前に現場踏査を行い、生態系への影響や希少種の有無等について確認して計画立案を行い、関係各所と協議、連携の上、施工を行っている。						6.6									15		
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・現場における建設廃棄物のリサイクル率向上に取り組んでいる・廃棄物の分別を徹底し、資源ゴミを業者に回収してもらい再資源化に取り組んでいる											12.5		14.1				
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレン ジ			本社、支店での使用量を把握して節水に努める						6.4 6.6											
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレン ジ		【予定】	ISO14001、エコアクション21いずれかの取得を検討中 (ISO14001は以前取得していたが、現在非更新)			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレン ジ			ホームページやSNSで取り組みを公表している												12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレン ジ			2015年12月に経済産業省より認定を受け、太陽光発電事業を開始し再生可能エネルギーの普及に取り組んでいる							7.2						13				
公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレン ジ			当社において直接的に天然資源を調達することはないが、メーカーや材料等を選択する際に、考慮している												12.2	13	14	15		
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			法令を遵守して職務遂行することを、コンプライアンス規程に定め周知している。																16 16.5	
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			法令を遵守して職務遂行することを、コンプライアンス規程に定め周知している。																16	
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			知的財産に関する法令を理解して社内で情報を共有して、自社並び他社の権利侵害等がないように徹底している。								8.2 8.3	9								
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			特定個人情報取扱規定を定め周知して、適切に管理をしている。																16	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレン ジ			紛争鉱物に関する理解を深め、今後も取り扱わないことを確認している																16	
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレン ジ			・協力会社との契約約款にて規程を記載して確認をしている。 ・安全大会等で法令に関することを確認、共有して事業に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	サプライチェーン全体での透明性と公平性を確保し、長期的な信頼関係を築くために「パートナーシップ構築宣言」を行うことが重要であると認識しており、作成・公表に向けて従業員や関係者への周知徹底や理解度の向上などの準備を進めている			3						8	9	10						17	

チェック項目		取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・ISO9001認証取得済。 ・社内に安全対策室が設置されている。			3.9								12.4						
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・ISO9001認証取得済。 ・品質マニュアルを制定の上、技術管理室、技術情報部が設置されている								9									
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			弊社住宅ブランド「住み家」は、断熱性能を表すUA値0.50以下を基準として設計・施工している。これにより、省エネ化された住宅を提供している。					6					12	13	14	15				
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			自然災害など緊急事態でも地域の復旧事業に対応できるようBCPを策定している。不測の事態でも混乱を避け、事業活動ができる様に訓練を定期的に行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・工事現場における説明会や近隣挨拶を定期的に行い、地域との対話を通じて事業の地域への影響の把握を行い改善に努めている				4					9		11	12		14	15		17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・現場周辺清掃や現場見学を行う他、社員の地域貢献活動を推奨している。 ・松本山雅レディースや信州ダイナブラックスネクストU15等、ユース年代のスポーツ団体に協賛をしている。				4							11			14	15		17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			住宅の施工にて、県内産木材活用を積極的に行っている。								8	9		11	12	13				
組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			・経営理念、経営方針を明文化し、社内に周知すると共に当社ホームページに掲載している・全役職員による会議を通じて経営者が直接説明し、目標の共有を図っている ・弊社の「パーパス」を全社員が理解して、各社員が「Myパーパス」の設定をしている									8	9							17
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			・「コンプライアンス規程」に則り、コンプライアンス推進委員会を設置し、法令遵守をする体制を構築している																16	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			・コンプライアンス推進委員会、総務部、ブランディング部を中心に企業活動による社会・環境に及ぼす影響に関する事項に対応している																16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			・地域の全ての皆様がステークホルダーなので、多くの方からご意見をHP等より受け、社内でも共有できるようにしている。																16	17
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			・労働安全衛生規定(労働安全衛生マニュアル)に基づきリスクマネジメントを行っている																16	
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			弊社HP、SNSにてCSR活動の報告、公表をしている。																16	
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			・事業継続計画(BCP)を策定し、定期的な訓練を実施している ・非常食の配備、非常用発電設備を設置している									9		11		13 13.1			16	
【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			・継続的な人事採用、教育・育成を行っている上で、事業継承に関する検討を行っている。								8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエッセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定